

地域活性学会 豊岡研究大会 ～官民パートナーシップ研究部会～

日時 令和5年9月3日（日）08時30分～10時40分

会場 第2会場 3F-B301 ZOOM-2

研究テーマ「官民連携による豊岡市のまちづくり」

豊岡市は、これまで民間企業との連携を進めています。豊岡市職員の民間への派遣や民間企業から豊岡市に専門人材として来ていただくなど、相互交流を進め、それぞれのノウハウを生かしています。

ローカル10,000プロジェクトでは、豊岡市と但馬信用金庫が中心となって、数々の事業化、イベント開催を実現してきました。

今回の研究会では、こうした豊岡市が進める官民連携によるまちづくりを検証し、人口減少が進む郊外の自治体の継続的なまちづくりへの政策や戦略に関する意見交換と提言を行います。



パネリスト

豊岡市DX・行財政改革推進課長
若森洋崇氏



1992年早稲田大学第一文学部卒業・豊岡市役所入庁。予算編成、コウノトリ「も」住めるまちづくり、かばん産業振興、旅館の働き方改革、深さを持った演劇のまちづくり、ジェンダーギャップ解消等を担当後、2022年4月から現職。大手企業・市内団体等と連携した地域課題の解決に取り組み続けている。

但馬信用金庫常務理事
宮垣健生氏



但馬信用金庫 常務理事 兼 総合企画部長
1979年豊岡市生まれ。慶応義塾大学経済学部卒業。
但馬信用金庫入庫後は審査・組織戦略・リスク管理・地域ビジネス創出支援に取り組み、本店営業部長、事業支援部長を経て現職。座右の銘は「積極的公私混合」

兵庫県立大学特任教授
牧慎太郎氏



昭和61年自治省入省。総務省では地方情報化推進室長、情報政策企画官、行政管理局管理官、地域自立応援課長、消防大学校長等を歴任。
また、奈良県、北九州市、島根県、北海道、兵庫県、熊本市に勤務し、日本三百名山も完登。
著書「山族公務員の流儀」
総務省地域力創造アドバイザー

東洋大学客員教授
藤木秀明氏



2002年早大商学部卒、2010年東洋大学大学院経済学研究科公民連携専攻修了。東京三菱銀行・浜銀総合研究所地域戦略研究部研究員、東洋大学アジアPPP研究所シニアスタッフ、内閣府公共サービス改革推進室上席政策調査員、KDDI総合研究所コアリサーチャー等を経て現職。国土交通省PPPサポーター。

コーディネーター
関幸子
法政大学監事
地域活性学会理事



ローカルファースト研究所代表。三鷹市役所、財団法人まちみらい千代田にて、30年間地方自治に携わる。現在は、地域活性学会の副会長、内閣府の地方創生推進事務局アドバイザー（全国で7人）の1人。内閣府とともに、地方創生、デジタル田園都市国家構想の仕組みを使って地域の特性に合った仕事、DX、SDGs等のコンサルタントと事業組成を行っている。

内容